

豊かな自然環境と調和した快適に暮らせるまち

まちづくりの方向性

地球温暖化対策として温室効果ガス¹の削減が急務となっており、地球規模での様々な環境問題への取組が求められている中において、市民、事業者及び行政のパートナーシップ²により、豊かな自然環境を保全し、限りある資源が循環する、環境に調和した長野らしいまちを目指します。

< 施策の視点 >

- ・豊かな自然と調和し、共生するまちづくり
- ・市民の環境に対する意識の高揚
- ・市民、事業者及び行政が一体となった協働³体制の推進
- ・家庭や地域における環境に対する取組の推進

1 豊かな自然環境の保全と創造

- ・市民、事業者及び行政が一体となった地球温暖化対策を促進します。
- ・家庭、学校及び地域等における環境教育や環境学習の充実により、市民一人ひとりの環境問題に対する意識の高揚を図ります。
- ・次の世代に継承したい自然環境を保全・創造するとともに、多様で豊かな生態系の維持を図ります。
- ・身近な自然環境を保全・創造するとともに、**原生的な自然環境と多様で豊かな生態系の保全・維持を図ります。**

2 資源が循環する環境共生都市⁴の実現

- ・家庭や事業所等での省エネルギーの促進を図るとともに、新エネルギー⁵等の活用による、自然環境と共生する都市の実現を目指します。
- ・ごみになるものを減らし、繰り返し使えるものは使い、資源として再生利用する取組（3R）を通じた、持続可能な資源循環型社会の実現を目指します。